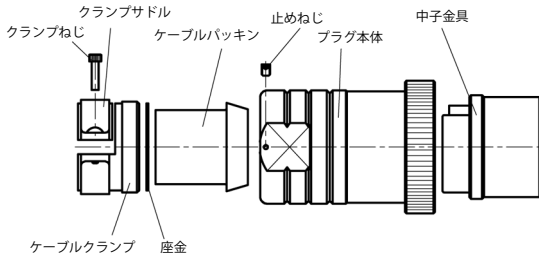


結線作業方法【はんだ・圧着】EUMW

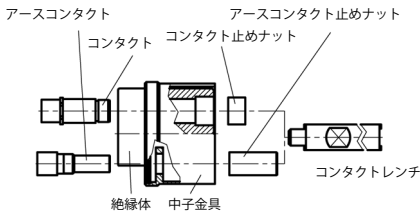
※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。
 クランプナットを締め付けた際にケーブルパッキン内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

1. 構成図の通りコネクタを分解する。

※六角レンチのサイズは以下の通りです。
 止めねじ→1.5mm クランプねじ→4mm



注) コンタクトレンチを結合面側より挿入してコンタクト止めナットを取り外す。

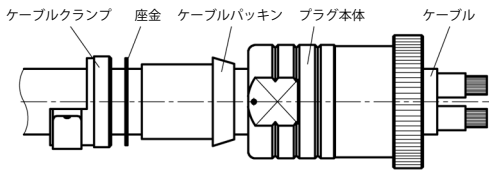


※コンタクト止めナットは、出荷時に仮止めされています。

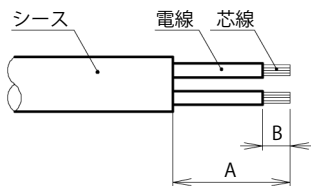
製品名	専用工具 (別売)			セット品名 こて先と断熱板のセット
	コンタクトレンチ種類	こて先	断熱板	
64EUMW	64EUMW 6.5 ミリコンタクトレンチ	SS80-KEU	SS80-B	SS80-EU
	64EUMW 10 ミリコンタクトレンチ			
75EUMW	75EUMW 9 ミリコンタクトレンチ	SS150-K	SS150-B	SS150-EU
	75EUMW 13 ミリコンタクトレンチ			

2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



3. 使用ケーブルのシース及び電線を下の表の寸法で剥く。



品名	端子番号	A(mm)	B(mm)	電線導体断面積 (mm ²)
64EUMW-4PF, PM 主回路・アース インターロック	全極	50	13	38
			7	1.25, 2
75EUMW-4PF, PM 主回路・アース インターロック	全極	55	15	60
			7	1.25, 2

4. 線剥きを施した電線 (主回路・アース) の芯線に予備はんだを施す。

注) ※予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。
 仕上がりに状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと。
 ※予備はんだを施したケーブル導体の仕上がりに状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

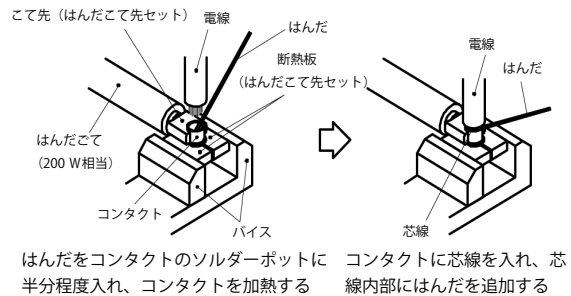
5. はんだづけを行う。

注) コンタクトへの過度の加熱はしないこと。
 使用はんだごては下の表を参照。

- ① コンタクトの溶剤ポットに芯線を差し込む。
- ② 図の様にはんだごてで加熱しながらはんだを流し込み、コンタクトと芯線の隙間を埋める。

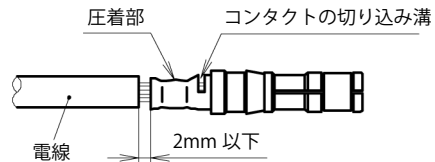
使用はんだごて	電線導体断面積 (mm ²)	こて先温度 (°C)
200 W	38 60	450

こて先温度は共晶はんだでの参考値



6. インターロック用コンタクトの結線

芯線をコンタクトの圧着部の穴の奥まで押し込みながら圧着工具で圧着する。



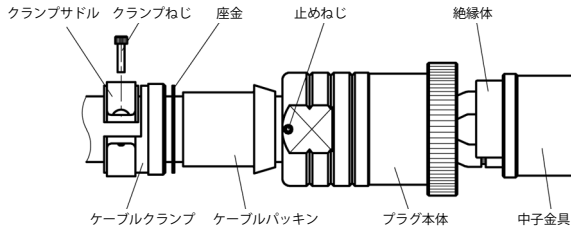
注) ※ 圧着工具のダイス位置は、導体断面積 1.25mm²、2mm²の電線はともに 2mm²の位置を使用すること。
 ※ 芯線の先端がコンタクトの切り込み溝を超えていて、芯線が穴から一本も出ていないこと。
 ※ JIS C 9711 に規定されている工具を使用して確実に圧着すること。
 ※ 圧着後、コンタクトと電線の隙間が 2 mm以下であること。

結線作業方法【はんだ・圧着】EUMW

※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。

クランプナットを締め付けた際にケーブルパッキン内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

7. 下記の要領でコネクタを組み立てる。



注) ※ パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出る事があるのできれいな状態で作業すること。

※ ケーブルパッキンをプラグ本体に押し込む際は、ケーブルに傷を付けない様に慎重に行うこと。

※ 締め付けのトルク値は右の表を参照。

- ① 中子金具を固定し、プラグ本体を締め付ける。
主回路・アース用コンタクトは、あらかじめコンタクトレンチで絶縁体・中子金具に装着、インターロック用コンタクトも絶縁体に装着する。

注) ※ インターロック用コンタクトが確実に挿入されると“パチッ”と音がする。

※ 組み込み後、電線を軽く引っ張り、抜けないか確認すること。

- ② プラグ本体にケーブルパッキン、座金を押し込み、ケーブルクランプを締め付ける。
(1分間に1回転以下の速度でねじ込むこと)
- ③ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ(下図参照)、再度ケーブルクランプを締め付ける。
- ④ 止めねじを締め付ける。
- ⑤ クランプねじを締め付けてクランプサドルを固定する。



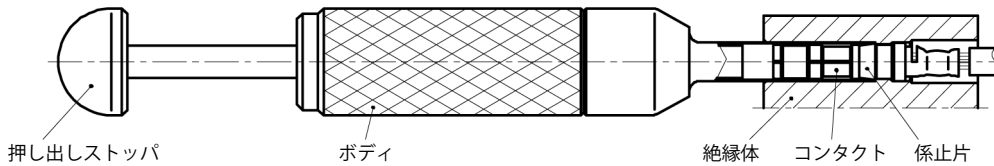
[単位: N・m]

締め付け箇所	シェルサイズ	
	64	75
中子金具-プラグ本体	2.5 ~ 3	
プラグ本体-ケーブルクランプ	0.2 ~ 0.3	
止めねじ	1.4 ~ 1.5	
クランプねじ		

インターロック用コンタクトの引き抜き及び差し替え

インターロック用コンタクトを絶縁体に誤挿入してしまった場合、引き抜き工具(下図参照)で取り外すことができる。

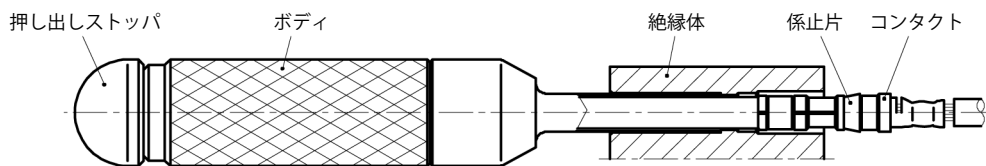
1. 引き抜き工具の先端を絶縁体の結合面側に入れ、結合面に対して垂直方向にボディを強く押し付けて工具により係止片が閉じた状態にする。



2. 結合面に対して垂直方法にボディを強く押し付けたまま押し出しストッパを押す。

注) ※ 係止片が完全に閉じていない状態で押し出しストッパを押すと係止片が破損するおそれがある。

※ 押し出しストッパを押す時は、手や指を挟まない様に注意すること。



3. 結線側に押し出されたコンタクトを絶縁体から引き抜く。

4. 引き抜いたコンタクトを正しい端子番号の穴に挿入する。

注) コンタクトの挿入前に、係止片に傷等の損傷がないか確認すること。